

中間報告概要(案)

全国屈指福祉会議からの検討指示事項	救急から在宅までの医療体制整備
	<ul style="list-style-type: none"> ○行政、医療及び救急等、多職種の連携・協働体制をさらに深め、地域完結型医療体制等の整備を図ること。 ○2次救急機能を含めた拠点となる病院のあり方を検討し、民間による拠点病院整備の支援等を図ること。 ○健康寿命を延ばすための予防活動の充実を図ること。

1【総社市の現状】 関連データ ※資料2参照

2【総社市の課題・課題解決のために現在行っていること・H29年度新規実施予定事業】

総社市の課題	総社市医療費適正化推進委員からの意見 H28.11.8 第1回全国屈指福祉会議で報告済	現在、行っていること	H29年度実施予定事業		事業の具体的内容
話し合い・連携が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・医療や救急の課題をみんなで考える場や体制 ・疾病を抱えていても住み慣れた地域で安心して医療や介護が受けられる体制づくり ・地域包括ケアシステムや在宅医療連携がしっかり機能するしくみ ・多職種の連携、協働体制のもとで、訪問診療、訪問看護、訪問リハ等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防から急性期、回復期、看取りまでを地域で支える医療介護体制を4つの会議（医療費適正化推進委員会・地域医療連携ネットワーク会議・地域包括ケア会議・全国屈指福祉会議）で検討している。 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・晴れやかネットケアキャビネットきびきびを導入し100ヶ所以上の事業所が参加している。（市外事業所も加入） 	継続		
啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な受診に向けた啓発活動 ・救急車の適正利用に向けた啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科医による小児の健康についての出張講座の開催 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・職員による小児医療費報告及び適正受診の呼びかけ 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の啓発による医療費適正化 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・適正な受診や看取りに関する啓発（講演会・エンディングノート活用等） 	継続		
予防活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病・感染症の発症予防 ・疾病の早期発見、早期治療に向けた活動 ・重症化予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な健康づくりをサポートするための健康インセンティブ事業 	新規	企業を巻きこんでの健康づくり	企業版そうじゃ健康マイポイント創設
		<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種 	新規	肺炎球菌予防接種助成事業	定期接種に漏れた方を対象に実施（H29・30 特例期間）
		<ul style="list-style-type: none"> ・健診、検診 	新規	受けやすい検診体制	医療機関受診への拡大（胃がん・肺がん・大腸がん検診） 対象者の拡大（腹部超音波検査・前立腺がん検診）
		<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病（CKD）フォローアップ保健指導 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルス検診、乳がん検診、脳ドック費用助成 	継続		
		<ul style="list-style-type: none"> ・肝がん予防講演会開催 	継続		
			新規	働き盛りの歯周病対策	お口の健康フェスティバル（啓発） 企業の歯科健診の現状把握（調査） 講演会（糖尿病と歯周病の関連を伝える。）

総社市の課題	総社市医療費適正化推進委員からの意見 H28.11.8 第1回全国屈指福祉会議で報告済	現在、行っていること	H29年度実施予定事業		事業の具体的内容
市外の病院との連携	<ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医の機能強化：普段の診療は市内で行い、精密検査や入院治療は市外で分担できるように徹底する。 • できるだけ市内で診療を受けることができる体制があり、必要時には市外で診てもらえる体制 	<ul style="list-style-type: none"> • 総社市地域医療連携協定（総社市・吉備医師会・倉敷中央病院・倉敷平成病院） • 学校法人川崎学園と総社市との連携協力に関する協定 • 市外への救急搬送 	継続		
救急の整備	<ul style="list-style-type: none"> • 傷病程度別に、軽症・中等症は市内、重症は市外で受け入れする等救急体制の整備 • 病院の施設（病棟等）がさらに明るく近代的な建物であり、医療機器等が充実している医療機関があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 救急指定医療機関救急診療事業（森下病院・薬師寺慈恵病院） • 曜日不問時間外診療事業（診療ドクター杉生） • 在宅当番医制夜間急病診療事業（月水金） • 在宅当番医制夜間急病診療事業に伴う調剤業務 • 在宅当番医制事業運営委託（日曜・休日） • 在宅当番医制歯科診療事業（日曜） • 救急指定病院施設整備補助金（H28 森下病院） 	継続		
在宅拠点となる施設（拠点病院の整備）	<ul style="list-style-type: none"> • 大病院から退院する場合、市内の受け入れ可能な医療機関が少ない。 • かかりつけ医による在宅医療の充実（訪問診療等） 	<ul style="list-style-type: none"> • 市外病院調査（市外3病院からの転院状況） • 在宅医療を担う関係者へのアンケート（準備中） 対象：医療機関・訪問型介護事業所・ケアマネ 調査内容：二次救急の充実・入退院調整部署の設置・転院時調整状況 	継続	平成29年7月開業（予定）	
			新規	アンケート調査の実施	

3【 H29年度検討事項（今後検討が必要なもの） 】

○拠点となる施設に求められる機能

二次救急機能・回復期リハビリ機能・地域連携機能・健診（検診）機能・市内医療機関への支援機能・災害時拠点機能・人材育成機能

○中学生の小児医療費の試算